

## ガラス被害を防げ！ごみ集積所のガラス対策を紹介！

ガラスによってごみ集積所が荒らされる被害が増えています。今回は、ホームセンターで購入できる材料を使用して、実際にガラス被害を防ぐことができたガラス対策を紹介します。被害がある場合はぜひ活用してみてください。



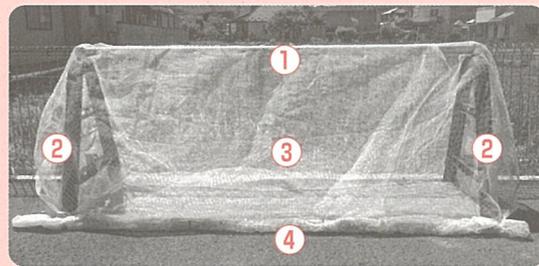
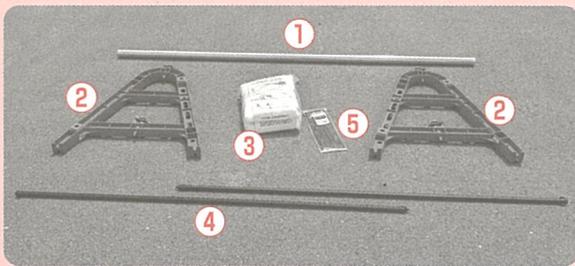
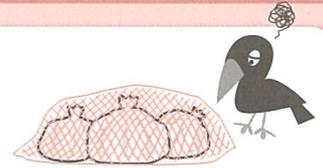
### ◆材料（費用：約10,000円）

- ①単管パイプ 1本
- ②単管バリケード 2個
- ③ガラスネット 1枚
- ④園芸用の支柱 2本
- ⑤結束バンド 1パック（適宜）

### ◆作り方

- ①パイプと②バリケードを組み合わせる
- 上から③ネットをかぶせる
- ネットの片方一面のみ開閉できる状態にし、側面は⑤結束バンドでバリケードにくくりつければ完成！

さらに 園芸用の④支柱を重りとしてネットの端に巻いておけば、ガラスの侵入を防げます。



詳しい作り方は  
こちらから



### ごみ集積所利用者みなさまへ

ごみを出す前に、もう一度確認してみましょう

#### Q 汚れが付いたまま捨てていませんか？

汚れは臭いの元となります。できるだけ汚れを落としてからごみに出すようにしましょう。



#### Q 生ごみの水気はきりましたか？

燃やせるごみの多くは生ごみが占めています。その生ごみの約70～80%は水分です。水切りを行うことで生ごみの重さを10%程度減らすことができます。



#### Q ごみ袋の口はしっかり閉まっていますか？

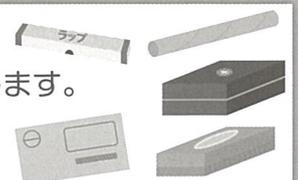
口が閉められることがルールとなっています。



ちょっとした努力により、気持ちよく集積所を使えるようにしましょう。

### 上田市では、8月から雑がみ回収袋の配布を開始します。

上田クリーンセンター、またはウィークエンドリサイクル（一部会場を除く）で配布します。雑がみ回収袋は、ひもで束ねる際にまとめづらく、燃やせるごみに出されてしまう小さい紙を入れるための袋です。家庭での分別にご活用ください。



# オオキンケイギクを駆除しましょう!

「オオキンケイギク」  
とは?



オオキンケイギクは近年爆発的に増加している**特定外来生物**です。5月～7月にかけて、**黄色いコスモス**に似た花を咲かせることで知られています。

強靱でよく生息することから、かつては工事の際の法面緑化に使用されたり、苗が販売されていたことがありました。しかし、あまりに強く、いったん定着してしまうと従来の野草の生息場所を奪い、周囲の環境を一変させてしまうため、平成18年に外来生物法に基づく特定外来生物に指定され、**生きたままの運搬や栽培、譲渡などが原則禁止**されました。



## 駆除方法

- ① 根元から株ごと引き抜きましょう。
- ② 袋に入れて枯らしてください。種子や根を落とさないように袋を密閉して、その場で数日間天日にさらして枯らしてください。
- ③ 「燃やせるごみ」として出してください。(処分を目的とした運搬は可能です。)

※オオキンケイギクを掘らない・抑えるといった点では、刈り払いやその場での野積みも有効です。



↑参考  
オオキンケイギクは  
「特定外来生物」  
-環境省

## 土地の適正な管理にご協力をお願いいたします

最近、  
市役所には、



◆ 隣地の木が境界を越えて伸びてきて困っている。



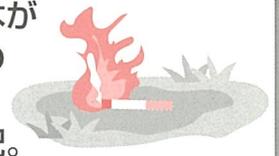
◆ 草木が繁茂し、虫等が発生して困っている。



◆ 草木が茂っていて、見通しが悪くなり、ポイ捨て等を助長する環境となっている。



◆ 秋になると草木が枯れ、タバコの火等で火災にならないか心配。



等の相談が数多く寄せられています。

## 皆様の所有地で、 管理の行き届いていない土地はありませんか？

これからの季節予想以上に草木が早く成長する場合があります。必要に応じて、草刈りや枝の剪定を行うか、個人での管理が難しい場合には、業者に依頼する等ご近所に迷惑をかけないよう、適正な土地の管理をお願いいたします。

